

☆第45回 全国中学校ソフトボール大会 出場



大洲北中学校 2年
森本 日向葵^{ひまわり} さん

森本さんが所属する女子ソフトボールチーム「愛媛^{アストライアー}ASTRAIA」は県大会、四国大会を突破し、クラブチームとして香川県で開催された全国中学校ソフトボール大会（開催期間8月18日(金)～21日(月)）に出場しました。家族みんなが野球・ソフトボール経験者というスポーツ一家に生まれた森本さん。小学校に入学するとやはり兄の所属するソフトボールチームに入りました。男女合同の小学生チームでは、高学年になるにつれ筋力や足の速さに男子と差が出てきてしまい心が折れそうになった時期もあったそうですが、家族や周りの応援にエネルギーをもらってプレーを続けることができました。中学生になると守備のポジションがセカンドからファーストに変わったこともあり、自主的に練習する時間を増やしました。普段は中学校の野球部に所属しながら週2回はクラブチームへ通い、時間があれば昔のチームへも顔を出して小学生と一緒に汗を流しています。将来は日本を代表するプレーヤーになりたいと真剣なまなごしで語る彼女は、まずは冬の大会に県選抜選手として出場できるよう、今日もバットを握ります。



HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.81 大洲農業高等学校

大洲農業高校食品デザイン科の廣澤^{れいら}玲来です。私は現在、家庭クラブの会長を務めています。家庭クラブは、家庭科を学ぶすべての生徒がクラブ員です。「創造・勤労・愛情・奉仕」の4つの基本となる精神を活動の柱とし、研究・広報活動、ボランティア活動、交流活動を行っています。大洲農業高校では、各種壮行会で選手の皆さんへの必勝クッキー贈呈、野球応援のサポート、農業祭での活動展示・クッキー販売、大洲駅周辺の清掃活動、高齢者施設への手作りカレンダー贈呈、こども園との交流、料理講習会の開催などさまざまな活動をしています。

現在、少子化などの影響で全国の家家庭クラブ員の総員が減ってきているそうです。そんな中、今私たちができることは、家庭クラブ活動をさらに活性化させ、広く発信していくことです。大洲農業高校から温かさを、温もりを届けていけるように、今後もたくさんの活動を実行していきたいと思ひます。



一回は長浜高等学校からです。一

きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

祝「世界の持続可能な観光地TOP100選」に大洲市が2年連続で選定されました

国際公式認証機関の非営利団体グリーンディステーションズが実施する「世界の持続可能な観光地2023年TOP100選」に選定されました。昨年は、官民連携による歴史的建造物を再生して活用する町並み保全や地域経済に資する取り組みについて評価されて選定されましたが、今年は、町家の再生に加え地元住民と一般社団法人キタ・マネジメントが連携し、地域コミュニティを育ててきたことが評価され、2年連続の選定となりました。



モニターツアーで 城下町再生の物語を学んでみませんか

(一社)キタ・マネジメントでは、令和5年度観光庁「サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業」の採択を受け、地域住民を対象としたサステナブルツアーを造成しています。ツアー造成の参考とするため、モニターツアーを開催しますので、ぜひご参加ください。

【日時】

第1回 12月16日(土) 10:00~12:00

第2回 12月22日(金) 10:00~12:00

【場所】

肱南地区 (集合場所：大洲まちなかの駅あさもや)

【募集人数】 各回15人

【参加費】 500円

【内容】

OZU STORIES ~大洲城下町再生の物語~

案内ガイドに導かれ、導入動画鑑賞、町家内覧、地域事業者との交流などを行い、大洲城下町が再生された内容を学び、まちづくりを考える旅。

【参加申し込み】 事前Web予約制

(受け付け開始11月16日(木)8:30)

持続可能な観光まちづくりシンポジウム ~なぜ世界一になったのか~を開催します

今年3月の「グリーンディステーションズ ストーリー アワード ITBベルリン」の「文化・伝統保全部門」世界1位受賞と今回の2年連続TOP100選定を記念し、シンポジウムを開催します。

(株)M A T C H A代表取締役社長青木優さんによるインバウンドについての講演や、大洲市が世界1位となった理由・現在行われている活動などについての報告を行います。ぜひお越しください。

【日時】 12月16日(土) 13:30~15:00

【場所】 市民会館大ホール

【参加費】 無料

【参加申し込み】 事前Web予約制
受け付け開始11月16日(木)8:30

【問い合わせ先】

(一社)キタ・マネジメント企画課

☎0893(24)7060



キタ・マネジメント
ホームページ



幕末に思いをはせながら

9月24日(日)、「わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道」を3年ぶりに開催し、35回目となる今回は、県内はもとより全国各地から115人が龍馬の足跡を偲ぼうと参加しました。出立式では、高知市役所観光魅力創造課の森野圭哉さんの力強い完全踏破宣言とともに、参加者はそれぞれのコースに分かれて足を踏み出しました。ゴールの泉ヶ峠まで自然あふれる河辺の魅力を感じながら歩き、ほぼ全員が踏破することができました。



ひゃくじゆ 百寿おめでとうございます

大洲市では100歳を迎える高齢者へ記念品を贈呈しています。9月27日(水)には肱川町大谷地区在住の森田ヨシ子さん宅へ、市長がお祝いの賞状と記念品を持参し、100歳をお祝いしました。森田さんに健康の秘訣を聞くと、「何でもよく食べること」とのことです。みそ汁は具たくさん、バーベキューでお肉を食べることもあるそうです。

大洲市で100歳以上の高齢者は、10月1日時点で39人となっています。



今年の棚田米の出来栄は？

「オーナー制度」により棚田の景観保存に取り組んでいる榎谷地区で、オーナー参加による稲刈りが行われ、9月30日(土)、10月1日(日)の両日で50人以上が榎谷地区を訪れました。伊予市から参加した家族は「今回で2回目の稲刈り体験。田植えも楽しかったので今日は子供の友達も誘って参加してみた」とのことです。子供たちも鎌の使い方を学びながら汗を流していました。保存会によると、今年は暑さで稲の成長が早かったそうですが、味はおいしく仕上がったとのことでした。



いつも応援ありがとうございます

明治安田生命保険相互会社が展開する「私の地元応援募金」の目録贈呈式が10月6日(金)に行われ、松山支社大洲営業所の川久保太介所長らが市役所を訪れました。この制度は、従業員が出身地やゆかりのある地域を応援しようとした募金に同社が上乗せをした上で寄附するもので、川久保所長は、「市民のみなさんの健康増進や子育て支援事業などに活用してほしい」と話していました。

ツール・ド・ひじかわ2023

交流人口の拡大と地域の活性化を図ろうと、サイクリングイベント「ツール・ド・ひじかわ2023」が、10月8日(日)に開催されました。残念ながら雨に見舞われましたが、県内外から116人が参加しました。スタート前に、徳島県から夫婦で参加したという2人に話を聞くと「レベルに応じてコースが設定されているので、初心者でも気軽に参加できた。休憩所では地元の名産などが味わえるそうで楽しみ」と元気よく秋の肱川に向けペダルを踏み出していきました。



大洲のええモン・うまいモン大集合！

10月9日(月・祝)に「第13回大洲産業フェスタ2023」を開催しました。大洲市の産業や商品の魅力を伝えるべく46のブースが出展され、約1万2000人の来場者は、作り手とのやり取りとともに大洲のええモン・うまいモンを楽しみました。

また、パトカー・白バイの試乗や4トントラック荷台への絵付け、一本歯下駄チャレンジなど、子供も楽しめるブースも多く、たくさんの子供たちの笑顔があふれるイベントになりました。



肱川クリーンフェスタ

肱川の清流保全や海洋ごみの削減について知ってもらおうと、「肱川クリーンフェスタ」を10月22日(日)に緑地公園で開催しました。2部制に分けて行ったこのイベントでは、まず1部として肱川河川敷を中心に約200人で清掃活動を実施。続いて2部では、海洋プラスチックごみに関するクイズ大会や展示コーナーに加え、キッチンカーの出店、アトラクションなどのさまざまな催しを楽しみながら、海洋プラスチックごみについて楽しく学べる1日として多くの家族連れなどで賑わいました。



今年も熱く華やかに

10月22日(日)、今年で17回目を数えるビッグイベント「えひめYOSAKOI祭り2023」が肱南地区の4会場で行われました。県内外から集まった22チームは、肱南ピクニックランドの特設会場、市民会館、本町・中町商店街を移動しながらそれぞれの会場で舞を披露。最後は特設会場での総踊りと続き、秋の日の肱南地区は、華やかな衣装をまとった600人を超す参加者たちの熱気に包まれました。また、このイベントは学生を含む多くのボランティアが参加し、運営を支えました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

【豚バラ大根の生姜煮】



材料（4人分）

大根	400g
豚バラ肉	160g
ショウガすりおろし	20g
水菜	適量
水	400ml
酒	大さじ2
みりん	大さじ2
砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ2
ごま油	大さじ1

作り方

- ① 大根は皮をむき、約1cm幅の半月切りにする。豚バラ肉は食べやすい大きさに切る。
- ② 深めのフライパンにごま油を入れ、中火で大根を両面に焼き色がつくまで焼く。
- ③ 豚バラ肉、ショウガすりおろしを加え、炒めたら、酒・みりんを回し入れる。
- ④ 水・砂糖を加え、沸騰したら大根が軟らかくなるまで弱火で10～15分煮る。
- ⑤ しょうゆを加え、汁気が少なくなるまで煮る。
- ⑥ 皿に盛り付けたら、切った水菜をのせる。

大根の栄養

冬が旬の大根は、寒さとともに甘みやうまみが増してきます。体に優しく、調理法も多彩な大根は、大洲でもよく収穫されている野菜のひとつです。

大根に含まれるビタミンCは免疫力を高め、消化酵素であるアミラーゼは胃腸の消化吸収を助けます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和の 第11回 DXのすすめ



近年、新しい娯楽としても成長産業としても注目を集めている「eスポーツ」は、コンピュータゲームを使った対戦を競技として捉えるものです。日本でも古くから格闘ゲームの大会などは存在していましたが、近年のeスポーツはさまざまなジャンルのゲームに広がっており、まるでスポーツのような実況や観戦ができるものになっています。

特に世界では、eスポーツの大会が日々開催されており、多くのプロのプレイヤーがスポンサーと契約し、活躍しています。また、日本でも、eスポーツの大会で1億円以上の賞金を手にするプレイヤーも出てきました。将来的にはオリンピックの種目にする可能性についてIOC会長が言及するなど、かつてゲームが子供たちの娯楽とだけ認識されていた時代からは大きく変化してきています。

近年のゲームは非常に精巧に作られていることもあり、勝つためには並外れた才能、練習、技術を必要とします。だからこそ、eスポーツには、従来のスポーツと同じように観る人を感動させる力があり、それがまたファンを増やしているのです。

今後は、eスポーツを部活動として認める学校も増えていくでしょう。また、高齢者施設や介護施設での導入も期待されています。

文化財

柳瀬焼窯跡

大洲市指定史跡
個人所有



柳瀬焼は、大洲藩3代藩主の加藤泰恒が焼かせた焼物です。窯は富士山対岸の梁瀬山の麓にあり、上方（関西地方）から迎えた才兵衛という陶工に藩御用の陶器を作らせたと伝わります。

元禄年間（1688～1704）頃の開窯で、操業期間は最長でも50年ほどの短いものですが、その間に焼かれた藩用の茶器類には優品が多く、蓮根形の花器や、椎茸形の菓子鉢など、凝った意匠のものが今に残されています。なかでも「竹筒透入り器」は、柳瀬焼の代表作として市の有形文化財（工芸品）に指定されています。

柳瀬焼は、県内の陶器生産の中でもいち早く開始されたものであり、その窯跡は県内最古の近世窯跡として貴重です。

（昭和31年9月30日指定）